

台風9号、10号 相次ぎ襲来

8月31日(月)に台風9号が沖縄本島・久米島・宮古島地方へ、9月5日(土)に台風10号が大東島地方、沖縄本島へ襲来しました。大型で非常に強い台風の相次ぐ襲来により、広範囲にわたって当社設備に被害をもたらしましたが、当社、関係会社、電気工事会社(協力会社)が早期復旧に向けて、作業を行いました。

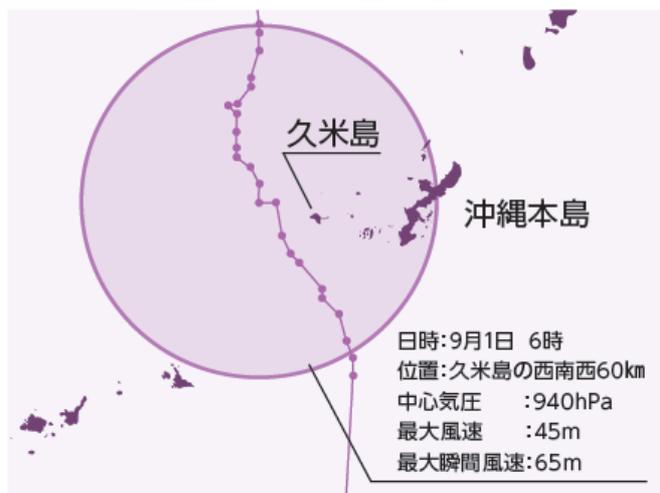
台風9号

●経路および特徴

8月28日(金)3時にフィリピンの東で発生した熱帯低気圧は、同日15時に台風9号となり、31日(月)21時には沖縄本島の南西海上で大型で非常に強い台風となりました。

台風は勢力を維持したまま北寄りに進み、9月1日(火)4時頃、久米島にかなり接近した後、台風は非常に強い勢力で東シナ海を北上し、次第に沖縄地方から遠ざかりました。

暴風域に入った時間帯は、宮古島地方が31日(月)22時頃から約6時間、沖縄本島地方が31日(月)21時頃から約21時間でした。



●設備被害状況

発電 : 被害なし
送電 : 被害なし
変電 : 被害なし
配電 :

電柱破損(折損、倒壊) 1本
電線断線[高圧] 56条・スパン
電線断線[低圧] 21条・スパン
柱上変圧器破損 32台
碍子破損等^{※1} 258箇所

※1: 高圧バインド、高圧碍子

最大停電戸数 : 36,970戸(9/1 02:00)

●復旧要員派遣

事前派遣

- ①周辺離島等への事前派遣 22名
- ②各部から各支店への事前派遣 62名

事後派遣

- ・久米島への応援 40名
- ・間接部門から各支店への電話応援 36名

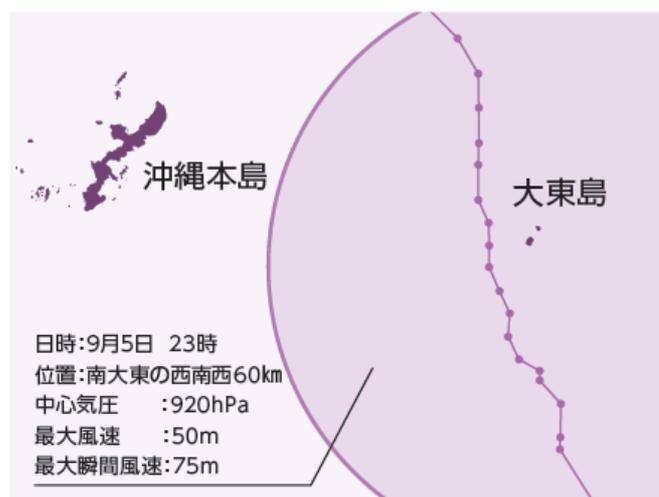
台風 10 号

●経路および特徴

8月31日(月)9時に小笠原近海で発生した熱帯低気圧は、9月1日(火)21時に台風10号となり、9月5日(土)11時には南大東島の南南東約190kmで大型で非常に強い勢力となりました。

台風は9月6日(日)0時には南大東島の西約30kmを勢力を維持したまま北寄りに進み、大東島地方にかなり接近した後、九州南部・奄美地方へと進み、次第に沖縄地方から遠ざかりました。

大東島地方は5日(土)7時頃から約27時間暴風域に入り、沖縄本島でも約34m/sの最大瞬間風速となりました。



●設備被害状況

発電 : 被害なし

送電 : 被害なし

変電 : 被害なし

配電:電線断線[高圧] 9条・スパン

電線断線[低圧] 8条・スパン

柱上変圧器破損 8台

碍子破損等^{※1} 286箇所

※1:高圧バインド、高圧碍子

最大停電戸数 : 3,930戸(9/6 12:00)

●復旧要員派遣

事前派遣

- ①周辺離島への事前派遣 18名
- ②離島への事前派遣 16名
- ③巡視対応者の事前派遣 56名

事後派遣

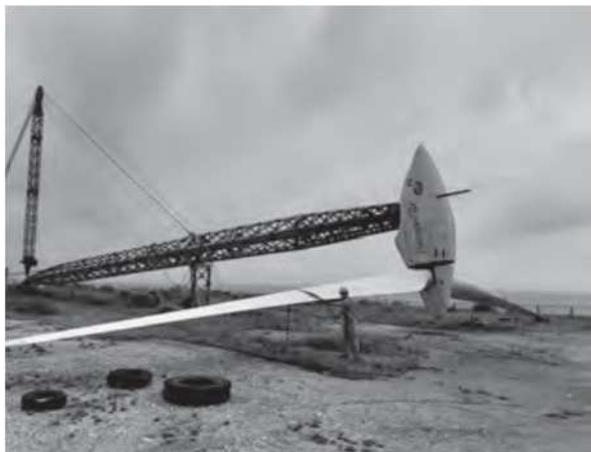
- ①南北大東への応援 30名
- ②名護支店への応援 72名

台風10号の復旧作業においては、県の災害派遣要請に基づく陸上自衛隊第15旅団の協力を得て、北大東島12名の復旧要員を応援派遣しました。

復旧要員最大化に向けた新たな取り組み(本島)

早急な「被害状況の全容把握」と「復旧見通しの情報発信」を目指し、復旧要員を最大化するための施策として、本店各部門および支店ネットワークサービスGから要員を派遣し、巡視時の運転手として復旧応援に当たりました。(台風9号:51名、台風10号:29名)

復旧作業の様子 9号、10号



事前対策として傾倒した風車(南大東)



巡視前ミーティング



陸上自衛隊ヘリでの応援派遣(台風10号・北大東)